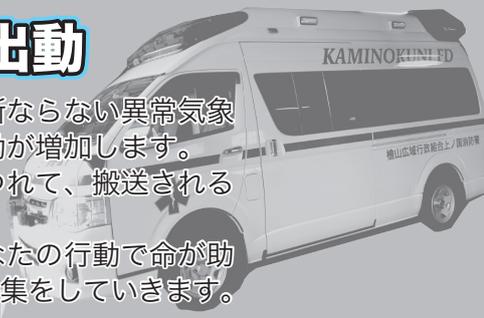


増える高齢者人口 × 増える救急出動

近年はお盆が過ぎても猛暑日を記録するなど、北海道でも油断ならない異常気象が続いています。そうすると毎年必ず『熱中症』による救急出動が増加します。

上ノ国消防署調べによれば、町内の高齢者人口が増加するにつれて、搬送される方の数も年々増加しているそうです。

熱中症だけではありません。あなたのご家族が倒れた時、あなたの行動で命が助かるかもしれません。今月は、救急救命の現場からの声を交えて特集をしていきます。



救急車の『適正利用』～ためらわず救急車を呼んでほしい症状

大人

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリと笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



頭

- 突然の激しい頭痛・高熱
- 支えなしで立てないほど急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

小児(15歳未満)

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している



頭

- 頭を痛がってけいれんがある
- 頭を強くぶつけて出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しい、嘔吐が止まらない
- うんちに血が混じった

救急車の呼び方

119番通報をすると、通信員が救急車の出動に必要なことを、順番に伺います。慌てず、ゆっくりと教えてください。

1 救急であることを伝える

119番通報したら、まず「救急です」と伝えてください。



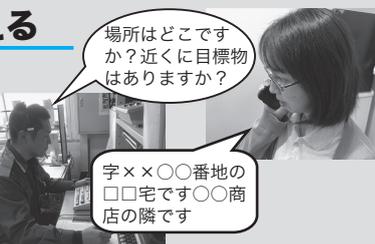
3 症状を伝える

誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無などを伝えてください。



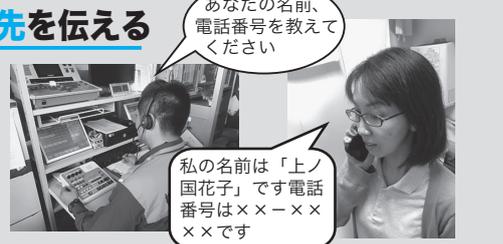
2 場所を伝える

住所を伝えてください。住所がわからない場合は、近くの建物、交差点など目印になるものを伝えてください。



4 名前と連絡先を伝える

あなたの名前と連絡可能な電話番号を伝えてください。



※「サイレンを鳴らさずに来てくれ」と依頼されることがあります。しかし緊急時の救急車は、法令でサイレンを鳴らして走行しなければならないことになっていますのでご理解とご協力をお願いいたします。